

第53回

医療研究全国集会 in 茨城

IBARAKI 2026

国民と広く連帯し、患者・利用者・地域住民と医療・介護・福祉労働者の人権・いのちの尊厳を守ろう



[撮影:田澤 純 写真提供:水戸芸術館]

2026年

6/27

1日目

土

ザ・ヒロサワ・シティ会館
大ホール [茨城県立県民文化センター]
水戸市千波町東久保697番地

6/28

2日目

日

ザ・ヒロサワ・シティ会館
集会室等 [茨城県立県民文化センター]
水戸市千波町東久保697番地

全体会 (12:00開場・受付開始、13:00開会)

分科会 (9:00各会場受付開始、9:30分科会開始)

〈オープニング〉茨城県立水戸工業高等学校ジャズバンド部「Blue Beginners」

記念講演

ジェンダー視点で日本の社会保障を考える

茨城大学人文社会科学部教授 清山 玲

基調フォーラム

2040年に向けた新たな地域医療構想は、 医療・介護・福祉現場に何をもたらすか

〈コーディネーター〉

長友 薫輝
佛光大学教授

〈パネリスト〉

加賀美 理帆
茨城県医連会長・
城南病院医師

簾内 信行
翠清福祉会・専務理事

安本 真理子
茨城県厚生連労働組書記次長・
全厚労医療研前委員長

- ① 地域を守る公共インフラとしての医療・社会保障の在り方を考えよう
- ② 健康づくり活動を地域住民とともに
—「孤軍奮闘」から「ともにつくる」への転換—
- ③ 人権が守られるより良い看護
- ④ これからの精神医療を考える
- ⑤ 患者のための臨床検査
- ⑥ 病院・介護・福祉施設における給食の現状と改善をめざして
- ⑦ 「労働者」のいのちと健康を守る活動を考える
- ⑧ 介護分科会
- ⑨ 放射線医療従事者の職場環境と他職種連携に向けて
—夜勤の実態や休暇制度、人員配置について考える—
- ⑩ わたしたちが大切にしたい保育
—院内保育所のあり方—
- ⑪ リハビリテーションの現場で求められるもの
- ⑫ 薬と社会
- ⑬ 動く分科会
9:00 水戸駅 集合・出発
(百里基地・百里平和公園ほか)
16:00 水戸駅 帰着・解散

ごじゃっぺな医療・介護・福祉政策じゃだめだっぺ! いのちの尊さが目に入らぬか! 医療・介護の充実を茨城から発信しよう

主催

第53回 医療研究全国集会組織委員会

TEL 03-3875-5871

日本医療労働組合連合会 <http://www.irouren.or.jp/>
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館3F

公益財団法人 日本医療総合研究所 <http://iryousouken.jp/>
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館1F

協賛 第53回医療研究全国集会in茨城・現地実行委員会／茨城県医労連